



豊見城中学校

進路通信

第7号

2023年10月25日（水）発行



休み前から、スタートした「体験入学・学校説明会」が今月で終了します。実際に高校に出向き、学校の雰囲気や学校生活、教育課程、進路状況、部活動等について情報収集することができました。各高校のスクールポリシーを再確認し、進路決定の準備をしましょう！「体験入学・学校説明会」に参加した3年生の感想を紹介します。

沖縄水産高等学校

体験入学を通して、少し興味を持っていた船のことやロープの結び方などを学べたので、楽しかったです。校内の雰囲気もとても明るく普通高校とは全然違う授業内容で、40日間の遠洋航海や遠泳実習などと魅力を感じました。部活動は先輩方が優しかったので、楽しく活動できました。イメージよりも楽しかったので、沖水に行きたいと思いました。[3-6 M.K.]

いろいろなことが体験できて楽しかった。沖水ならではのツナ缶を作っているところを見たり、モールス信号体験したり、いつも体験できないことをすることができたので楽しかったです。[3-8 B.R.]



沖縄工業高等学校

僕の行きたい情報電子科では、機械のプログラムやPA制御を学んでいくことや、国家資格も受けることができ、大手企業に就職するための大きな武器になることが分かった。他の学科も見学したが、情報電子科が自分に合っていると再認識した。[3-5 Y.K.]

参加してみて、たくさんの学科があるのに、1つ1つしっかり個性があって面白かったです。また、すべての学科でみんな協力しながら課題などをやっていた姿が深く印象に残っています。私が興味のある生活情報科のみなさんが作ったお弁当やパズル、おもちゃなどがとても上手で完璧にできていたので、とても印象に残っています。沖縄工業は工業しかやらないイメージだったので、新しいことを知れてよかったです。[3-6 Y.M.]



南部農林高等学校

体験入学式のハンダマのバイオ苗の研究発表には驚きました。琉大と共同研究をしていると知って、やっぱり農業の専門高校だと思いました。生物資源科では、温度をコンピュータで管理している温室や無菌処理を施し、植物を培養させることやニワトリの卵の洗浄機械や卵の大きさの違いの理由など知ることができました。[3-4 I.S.]

想像していたよりきれいで、楽しそうだった。先輩や先生方が優しくそうで安心した。食品加工も楽しそうだったし、クッキーをつくることも楽しかった。[3-6 I.R.]

南部商業高等学校



学校の雰囲気は中学校とあまり変わらなかった。女子が多い学校のため少し新鮮だった。名刺交換の体験がとても印象に残った。右手で名刺を相手に向け、相手の右手に置き、自分の右手で相手の名刺を受け取り、「ちょうだいします。」ということが学べた。ターゲットをしばらく、商品を販売するための会議を体験した。とても新鮮だった。[3-6 S.T.]

普段の学校生活とは全然違う経験ができました。学校紹介では、インターネットで自分が調べられなかったことや各学科で身につく力などについて知ることができてよかったです。各学科での体験学習では、高校の先輩たちや先生からやり方を教えてもらって、ペアの人と体験するのもあり、それぞれの雰囲気も知れたと思うのでよかったです。[3-8 T.R.]

那覇高等学校

「和衷共同」「積極進取」という校訓は、生徒一人一人が成長できる環境にあるなと思いました。また、大学の進学率が高く、国立大学に進学する人が100名以上いることがわかりました。校内をまわり、各クラスの授業の様子を見学して、グループ学習をしているクラスが多いと感じました。文武両道的那覇高校は自分に合っていると感じたので、もう一校と比べながら考えたいと思います。[3-2 S.S.]

実際に高校に行ってみて、中学校とは異なる点が多くあった。全体的に中学校よりもゆるく、朝8:45までに登校や昼休憩は50分だ。校訓も皆で協力する「和衷共同」、積極的に物事に取り組む「積極進取」と生徒の成長を第一に考えたよい校訓だと感じた。卒業後の進路も国立や私立大学に入学している人もとても多かった。実際に学校の中を見てみて、皆とても真剣だけど、和気あいあいとしていて、ここで勉強できたら楽しいだろうなと感じた。[3-3 A.Y.]



元々、志望校是那覇高校にしようと思っていたので、今回の体験入学のおかげでより一層いきたいという気持ちが決定的になりました。中間考査の一週間前ということで部活動の見学は叶いませんでしたが、校内見学では、各学年の先輩方の授業風景を見て、学校全体の雰囲気が良かったと感じました。説明会を通して、通学方法や各学年で学べることやカリキュラム、卒業した人が進学した大学など、那覇高校のことをよく知ることができ、ほぼこの高校にいきたいという意志を自分の中で再確認する機会になりました。[3-4 M.A.]

「城岳祭」がとても楽しそうだったことと、朝が8:45までに登校ということが印象的でした。もっと朝は早いと思っていたので少し驚いたのと、休み時間の早弁もできるので、早朝講座等があるときはいいなと感じました。校内の雰囲気はとてもよく、部活が活発そうだなと感じました。将来のことを考えながら、自分がどんな仕事に就きたいかを考え、慎重に進路を選ばないといけないと感じました。[3-8 H.N.]

那覇国際高等学校

図書館ではいつでも自習したり、進路指導室では参考書が置かれ、進学しやすい環境だから、大学に行って勉強して、就職したりするのであれば自分に合っている学校かなと思いました。2年生になると文系・理系に分かれ、自分の伸ばしたい部分を十分にやることのできる場所が、いいところだなと思いました。放課後に講座をやったり、7校時にしたりして、勉強しやすい環境が整っていると思いました。なんとなく高校に行くんじゃなくて、将来何になりたいから大学はどこにして、高校はどこにするか逆算して考えないとだめだと分かりました。[3-1 A.W.]

体験入学を通して、学校の雰囲気や中学校との違いを知ることができました。特に印象に残っているお話は、将来自分がなりたい姿と就きたい仕事から、自分がどこの高校のどのコースで学ぶのか考えることが必要だというお話です。那覇国際高校にも国際科と普通科、その中の文系、理系など色んな選択ができると分かり、自分にあてはめながら考えることができました。また、入試当日の点数がだいたい270点必要で、それくらいとれないと授業についていくのも難しいと知り、これまでに以上に毎日勉強を頑張ろうと思いました。[3-6 I.I.]

体験してみて、進学校だから堅いイメージを持っていたけど、生徒の自主性を大切にしていることが伝わりました。また、タブレットやスマートフォンを活用していて、進んでいるなと感じました。受験生を支える仕組みが整っていていいなと思いました。[3-7 K.S.]



